

茨城県社会福祉士会 NEWS

69

Mar.2022

contents

報告：定時総会を開催しました	2
基礎研修を受講しませんか	3
会員の声	6
事務局だより	7
公式LINEをご利用ください	8



真新しいスーツに身を包んだ新社会人、大きめの制服が初々しい学生が街のあちこちに見られる季節がきましたね。コロナ禍ということもあり、歓迎会は無し…というところも多いでしょうか。早く新しい環境に慣れ、生き生きと過ごせる毎日になれるよう、周りからも上手にサポートしたいですね。

さて2年ほど前にスタートした公式LINE配信ですが、お陰様で友だち登録が増えています。これまではフリープランでの利用だったため月2回の配信が限界でしたが、令和4年度から有料プランに移行することになりました。より迅速かつ豊富な情報提供が可能となりますので、友だち登録がまだお済みでない方はぜひお願いします！友だち登録の方法は裏表紙をご覧ください。
(広報事業部)

Check !



ホームページ

2021年度定時総会を開催しました

2022年3月20日(日)に定時総会が開催されました。今回も感染症対策のため、Zoomによるオンライン開催とさせていただきました。当日は32人(理事を含む)が参加し、すべての議案について賛成多数で可決されました。

議案の詳細は、お送りしている資料または会員専用のホームページからご覧ください。以下に主な内容を掲載します。

< 研修事業部 >

基礎研修をはじめ、年間通して研修を実施する予定です。感染症対策のため、基本はオンライン開催となりますが、演習のある研修については状況を見ながら集合形式での実施を検討します。開催日などの詳細は、決定次第順次ホームページや公式LINEでお知らせします。

< 組織強化事業部 >

例年通りブロック活動費を配分します。

ブロック間の活動格差解消や活性化を目的としたブロック再編の検討をおこなっていきます。

< 相談事業部 >

各ブロックの相談事業部持ち回りで、無料相談会を実施します。

< 広報事業部 >

ホームページと公式LINEでの情報発信を重点的におこないます。

< 特別委員会 >

県からの受託事業の実施、各種規定等の整備、高齢者虐待対応専門職チームの運営などをおこないます。

2022年4月1日以降新たに入会される 30歳以下の方は、入会金及び初年度年会費が免除されます

2021年3月に開催された日本社会福祉士会（以下、日本士会）2020年度臨時総会において「財政基盤の確保及び事務局体制の強化に向けた提案書」が承認されました。提案書では組織率を高めるために入会促進と退会抑制のための方策が示されており、そのひとつとして特に若年層の入会促進を図るため、30歳以下を対象に入会金及び初年度年会費を免除するキャンペーンを3年間おこなうこととし、2021年度第1回臨時総会（10月2日）において規則の改正が行われました。

茨城県社会福祉士会では、この日本士会の方針に従い2022年4月1日以降新たに入会する30歳以下の方の入会金（5,000円）及び初年度

年会費（13,000円）を免除することを理事会で決定、今回の総会において第3号議案「一般社団法人茨城県社会福祉士会の会費に関する規則の一部改正について」を上程し、可決されました。3年間の試行後、この措置を継続するかどうか効果の検証が行われる予定です。

30歳以下の有資格者の方にとって、入会のチャンスとなります。お近くに該当する方がいらっしゃいましたら、是非入会をお勧めください。入会申込書は、事務局にご請求いただければ無料でお送りいたします。



…ひとこと…

「梅に鶯」は、古代中国の漢詩に由来する「松に鶴」「竹に虎」のように風流な花鳥風月を表すもので日本人が大好きなモチーフ。しかし実際に鶯が梅にとまることはほとんどないそうです。警戒心が強く藪の中で鳴いているので、姿を見かけることも難しいとか。

基礎研修を受講しませんか？

生涯研修制度は、基礎課程、専門課程の2つの課程からなっています。

基礎課程は、都道府県社会福祉士会に新しく入会した社会福祉士が必ず受講する課程としており、基礎研修Ⅰ、基礎研修Ⅱ、基礎研修Ⅲの順に決められたカリキュラムを受講します。

専門課程は、基礎研修を修了した会員がさらに研鑽を積むための課程として、自ら立てた研修計画に従い受講するものとして位置づけられています。第1期専門課程、第2期専門課程という区切りをもちながら、社会福祉士である

限りは研鑽を積み重ねる課程であり、自分自身で研修計画を立てて進めます。

なお、日本士会や都道府県士会が主催する一部の研修（成年後見人養成研修など）は、基礎課程の修了が受講要件として定められているものがあります。茨城県社会福祉士会でも今年度の基礎研修Ⅰの受講者募集が始まりますので、ぜひお申し込みください。

その他、生涯研修に関することは日本士会が発行している「生涯研修手帳」などをご覧ください。

生涯研修手帳については
こちらから→



日本社会福祉士会 生涯研修制度



基礎研修I

生涯研修制度独自科目	社会福祉士の役割を考える 社会福祉士会のあゆみ 日本社会福祉士会・都道府県社会福祉士会の組織 生涯研修制度
ソーシャルワーク理論系科目I	社会福祉士としての専門性について考える 社会福祉士会の専門性について考える 社会福祉士に共通する専門性の理解 所属組織のソーシャルワーク実践について学ぶ 所属組織以外のソーシャルワーク実践について学ぶ 社会福祉士に共通する専門性の理解
権利擁護・法学系科目I	倫理綱領・行動規範の理解 倫理綱領・行動規範の理解 社会福祉士の倫理綱領の実践適用

基礎研修II

ソーシャルワーク理論系科目I	相談援助の視座と展開課程 実践のためのアプローチ（ソーシャルワーク実践理論・モデルから学ぶ） 自立生活支援とコミュニティソーシャルワーク 実践事例演習
地域開発・政策系科目I	社会資源の理解と社会資源開発 連携システムのあり方とネットワークの構築 地域における福祉政策と福祉計画 福祉調査の方法と実際
人材育成系科目I	スーパービジョンとは スーパービジョンのモデルセッションを見る スーパーバイザー体験
権利擁護・法学系科目I	社会福祉における法I ソーシャルワークと権利擁護の視点I 社会福祉における法II ソーシャルワークと権利擁護の視点II
実践評価・実践研究科目系I	実践研究の意義と方法 実践研究のための記録 実践評価の方法 実践研究発表の方法



基礎研修III

実践評価・実践研究系科目I	対人援助と事例研究 事例研究の枠組み 事例研究の方法としてのケースカンファレンス 事例研究のための事例のまとめ方 模擬事例検討会
ソーシャルワーク理論系科目I	実践事例演習II（報告会）
権利擁護・法学系科目I	意思決定の支援
地域開発・政策系科目I	地域における福祉活動の実際 地域における福祉活動 地域における福祉活動の実際 地域の課題解決に向けた具体策について
サービス管理・経営系科目I	①社会福祉の組織と組織マネジメント ②情報共有・継続の仕組み、サービスの質の管理 ③リスクマネジメント、苦情解決システム、緊急介入事案の対処方法 事例研究（苦情、リスク、サービス評価）
人材育成系科目I	スーパービジョンのモデルセッション 新人教育プログラム

基礎研修Ⅲを修了した皆さんからのメッセージ

2021年度に基礎研修Ⅲを修了された方から、受講した感想とこれから受講する方へのメッセージをお寄せいただきましたので、一部をご紹介します。

窪 暁子 さん	中塚 久美子 さん
井上 貴志 さん	腰原 教江 さん
五十嵐 淳 さん	渡辺 千夏子 さん
千葉 由香里 さん	田中 さやか さん
矢部 幸子 さん	國分 亜衣子 さん
小田部 雄芳 さん	鵜野 潤子 さん
岡野 和弘 さん	他 3名のみなさん

*掲載許可をいただいた方のみご紹介しています。

事前課題や事後課題があり、時間を取るのが難しいこともありました。しかし、研修を受けることで、社会福祉士としての基本的な考え方や知識を改めて確認することができたと思います。これから更に、研鑽を積んでいきたいです。これから受講の方へ。必ず学びになります。遠い道のりと感じるかもしれませんが、修了した後はかなりの達成感があります。頑張ってください。



社会福祉士の資格を取得した時がゴールだと思ったのですが、そこはスタートラインでした。その気付きを得られたのがこの基礎研修です。相談援助に限らず多くのことが学べ、たくさんの仲間に出会えたことが私の財産です。



基礎研修を通して所属組織の地域状況を詳しく学ぶことができました。同時に、自組織の地域における役割や、今後の仕事について深く考える機会となりました。基礎研修ⅠからⅢまで一緒に研修を受けてき方々の精神的な支えがあり、無事研修を修了することができました。



自分の専門分野以外の課題や事例に取り組めたのはよかったです。また、一緒に集まった仲間とは、これからも長く付き合っていくことになります。そんな出会いの場でもあったかと思います。



研修中は、仕事と研修の両立が大変な時もありましたが、共に修了した仲間や講師の先生方と出会えたことは、私にとって大きな宝物となりました。受講したことで、少し自分に自信も付きました。



自分の日々の実践を振り返り、再確認しながら学習をしました。研修を通じて社会福祉士の方々とつながることも出来て受講して良かったと思います。



仕事やプライベートの調整など大変なことがありつつも充実した3年間を過ごされたようですね。お疲れ様でした！

今後は認定社会福祉士の取得に向けて、学びと実践を深めていただければと思います！

◎ 認定社会福祉士制度については
こちらから →



「十人十色の個性とペースでやってみよう」

柏 知子（県北ブロック）



私が福祉の世界に飛び込んだのは、今から25年ほど前でした。それまで私は福祉とは無縁の世界で生きていましたが、交通事故に遭い、入院生活での介助、初めての車いすでの移動、慣れない松葉杖での生活を体験することになりました。「もう少しタイミングがずれていたら、打ちどころが悪かったら、この程度の怪我では済まなかった」ということを約2ヶ月の入院中に医師から聞き、助かった命でこれからどのようにして過ごすか、この経験をどのように活かしていくか、ということを考えるようになりました。これが、全く知らなかった福祉について学ぼうと心に決めたまっかけになりました。

福祉の世界に飛び込んでからの初めの数年は高齢者の施設で学ばせていただいていた。その中で、「住み慣れた地域で心地よく暮していくためには何が必要か」を考えるようになりました。そして、ALSのある方とご家族との出会いから、痒い所に手が届く介護を目指すべく、24時間介護のヘルパーステーションを平成15年に立ち上げました。しかし、今になって当時のことを思い返すと、自立支援の意味をきちんと理解しきれていないまま手探り状態でサービスを提供していたように思います。また、どの訪問介護員が関わっても質の良いサービスを均等に提供できるのかという問題や、自分自身が人を育成するため、そして従業員と共に成長していくための学びの重要性も痛感した時期でもありました。

このような点をひとつずつ打破するため、社内研修や外部研修の双方に力を入れ、かつ自分自身も経営者としてのスキルの向上に重点を置き、社会福祉士の資格取得をいたしました。社会福祉士として参加した基礎研修等の様々な研修において、言葉には表現できないほどたくさんの方の事を学ばせていただきました。多くの方と出会い、多くのことを教えていただきながら現在に至りますが、地域の中で事業所や職種の垣根を越えて連携していくことが重要であると改めて感じました。

現在は、「十人十色の個性とペースでやってみよう」という理念のもと、平成29年9月に新たに事業所を開設し、利用者、ご家族、スタッフ全員参加でそれぞれの1upを目指すべく、総合的な自立の支援に取り組んでおります。たくさんの方の個性や将来が広がる現代だからこそ、一人ひとりの個性を大切に、タテにもヨコにもナメにも伸び得る多くの可能性を伸ばすために尽力していきたいと考えております。

まだまだ学ぶべきこと、未熟な点も多々あると思いますが、地域に貢献できる人であるために、確かな技術、豊富な知識、そして柔軟な対応力を身につけ、より良いサービスの提供、社会資源の充実を目指すべく、多くのことを経験・吸収していきたいと思っております。

●会員の声の原稿、その他記事を募集中●

日頃思っていることや心に響いた出来事など、1200字程度でまとめて掲載しませんか？その他、会員向けにお知らせしたいことなどありましたら、広報事業部あて（事務局のメール）にお送りください。



事務局だより

■2021年度定時総会が3月20日（日）に開催されました

今年度の定時総会が3月20日（日）に開催されました。

定数719名のうち、出席者（理事・事務局員）12名、オンライン（Zoom）での参加者20名、書面評決及び委任状有効者数が390名となり（過半数359名）、全ての議案について過半数の賛成を以て可決されました。

今後も会員の皆様にご協力をいただきながら、会活動の充実をはかっていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

■会員情報の更新にご協力ください

会員登録の情報に変更があったときは、ホームページの専用フォーム（下記QRコードからアクセスできます）またはメールで事務局あてご連絡ください。特に住所の変更は、郵便物が確実にお届けできるよう速やかにご報告くださるようお願いいたします。

また年1回、会員情報の更新確認をおこなっていますので、必ずご返信くださるようお願いいたします。



会員情報報告
フォーム

■入会案内について

皆様の職場等で試験に合格された方、資格をお持ちで未入会の方がいらっしゃいましたら、ぜひ入会のご案内をお願いいたします。入会申込書は、ホームページの申込フォームからご請求いただけます。



入会案内書
請求フォーム

資格取得はスタート！
入会して、みんなで
がんばろう～！



〈第34回社会福祉士国家試験結果〉

受験者数 34,563人

合格者数 10,742人

（うち、茨城県188人）

合格率 31.1%

* 社会福祉士登録者数 260,644人

（令和4年2月末現在）

茨城県社会福祉士会

登録はこちら！

LINE 公式アカウント

ご利用ください！



ID (@245ttgpg)



Check!

01

情報が早い！

いちばん早く情報を
入手可能

Check!

02

自動で届く！

友だち登録するだけ！

Check!

03

すぐに申込できる！

リンク先で研修申込可！
FAXもメールも不要！

CHECK



今年度初回は、
令和4年
5月11日(水)
19時から
詳細はLINE・
ホームページで！



=お知らせ=

ミニミニ講座は
奇数月

第2水曜日

19時からに
かわります



<発行>

一般社団法人 茨城県社会福祉士会
〒310-0851

茨城県水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5F

TEL: 029-244-9030

FAX: 029-244-9052

Mail: csw-iba@ibaraki.email.ne.jp



アドレス帳に
登録できます

茨城県社会福祉士会会員数

718名

入会率 16.6%

(令和4年2月末現在)